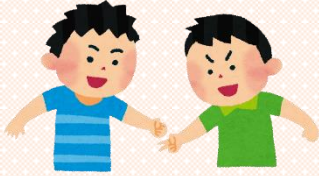


ルール例

【キンボール】 競技人数 12人（1チーム4人×3チーム）

①各チームプレイヤーはチームカラーを示すゼッケンを着用します。ゲーム開始時のヒット権利を決めます。



②3人でボールを支え、「オムニキン〇〇（他チームカラー）」とコールした後、プレイヤーの1人がボールをヒットします。

③コールされたチームは、ボールが床に落ちる前にレシーブします。

④ボールを床に落とさないよう、チームメイトと協力し、3人でボールを支えます。

⑤今度はレシーブチームがヒットチームになり、コール後にプレイヤーの1人がボールをヒットします。これをミスや反則があるまで繰り返します。

⑥勝敗を決定します。

○**得点制**…予め決められた点数にいち早く達したチームがピリオドを取得する。

○**時間制**…予め決められたピリオド時間内で最も多くの点数を獲得したチームがピリオドを取得する。

※「オムニキン」とは「すべての人が楽しめるスポーツ」という意味です。

【ヒット】

ボールを打ったり、押し出したりすること。腰から上であれば、どこを使っても構わない。
※ヒット時、ボールを支えるプレーヤーは、頭にボールが当たるのを防ぐため、できるだけ頭を下げること。

ヒット時の主な反則

反則名	解説
コンタクトミス	ヒットの瞬間、ヒットチームのプレーヤー4人全員がボールに触っていないなかった場合。
コールミス	正しくコールしなかった場合。「コールミス」の一例 1) レフリーにも聞こえない小さなコールの場合。 2) 2人以上のプレーヤーが同時にコールした場合。 3) 自分のチームカラーや使用していないチームカラーをコールした場合。 4) ヒッターの手がボールに触れる前にコールを言い終わっていない場合。 (コールしながらのヒットの場合) ※レシーブチームの混乱を招くため、コールと同時のヒットは反則です。
ショートヒット(短いヒット)	ヒットしたボールが1.8m以上飛ばなかった場合。
ダウンワードヒット (下向きのヒット)	ヒットしたボールがボールの軌道の最初の1m地点でボールがヒットした位置より上、または同じ高さになかった場合。
アウトサイド(アウトボール)	ヒットしたボールが直接コート外に落ちた場合。
トゥワイス(連続ヒット)	1人のプレーヤーが続けて2回ヒットした場合。

※補足「不当な攻撃(通称: トップコール)」について

ヒット時の反則の1つです。これはスポーツマンシップの精神をもとに狙わなければならない上位チームを攻撃せず、下位チームを攻撃した場合に適用されます。下位チームを攻撃した場合、即座にコールミスの反則がとられます。

【レシーブ】

体のどの部分を使ってボールをレシーブしても構わない。レシーブ後はボールを持って移動しても、パスしてもよい。※指先ではなく、手のひら全体でボールを受ける。ボールを中心として四角形をつくるように守備位置につくと効果的。

レシーブ時の主な反則

反則名	解説
レシーブミス	ボールが床に付く前にレシーブできなかった場合。
アウトサイド (アウトボール)	1) レシーブしたボールがコート外に落ちた場合。 2) レシーブ時、両足がコート外にある場合
イリーガルディフェンス (不当なディフェンス)	レシーブチームはボールから1.8mの範囲内に1名のみプレーヤーをおくことができる。レフリーがヒットの瞬間に2人以上のプレーヤーがいたと判断した場合。
タイムオーバー (時間ルール違反)	1) 10秒ルール違反…1番目のプレーヤーがレシーブしてから10秒以内にヒットしなかった場合。 2) 5秒ルール違反…プレー開始時や再開の際にレフリーのホイッスル後5秒以内にヒットしなかった場合。
ウォーキング	3番目のプレーヤーがボールに触れたら、その時にボールに触れているプレーヤーとそのあとにボールに触れたプレーヤーはピボット※しか認められず、このことに違反した場合。 ※ピボット(軸足)を固定し、その反対の足のみ動かす動作。